

授業改善書

科目名	環境経営論
担当者	西山賢一

授業の概要

企業活動による公害問題の発生と防止、ISO14001取得などの環境保全への取組みの段階をへて、環境経営やCSR(企業の社会的責任)に至る流れを、理論と豊富な事例の両方から理解し、経済と環境の関係をトレードオフからトレードオンに変えていく方向と戦略を受講者自身に考えさせ、環境ビジネスを生み出していく力量を身につけさせる。環境経営へのアプローチは、規制・罰則を手段とする政策に始まって、利益・費用を手段とする経済、経営に進んでいる。長期的な面からより効果的なアプローチは、良心・倫理や慣習・伝統のレベルに注目することであり、こうした環境経営の全体的な視野を大切にして授業を進めたい。

授業の問題点

全項目のうち、2点台が1つ、3点台が4つだけ3点台であり、他は4点である。2点台は、「質問や発言をしましたか」(2.74)、3点台は、「授業外学習をしましたか」(3.05)、「ノートをとりましたか」(3.16)、「授業内容に興味や関心を持ちましたか」(3.84)である。科目の性質上、現状とその背景、そしてエントロピー増大則など理論的な議論が中心になっていて、なかなか対話型で進めにくいという実情があり、そのことが反映しているようだ。

授業改善の課題・方策

自作のウェブサイトを利用して、授業だけではカバーできない内容を紹介し授業外での学習を期待したが、思ったほど効果できでない。多くの学生たちはスマートフォンの利用が中心になっていて、パソコンを利用して学習する習慣がないようだ。ウェブサイトの利用は、以前は効果的な方法だったが、考え直す段階になってきた。また質問や発言を促すように、対話型の方式も取り入れる必要がある。

その他

来年度は本学での授業を担当しないので、私自身への改善書にはなりませんが、何かの参考になるかもしれないと思い、提出します。